

(別紙2) 第5回山ノ内町議会報告会実施結果報告書(南部地区)

日 時	平成24年1月21日(土) 午後3時00分から午後5時00分まで
場 所	ほなみふれあいセンター (住民参加者数46人) 議員16・事務局1
地元協力団体	1. 南部地区協議会 2. 南部公民館
議員役割分担	<p>総括責任者 児玉 信治          司会進行 児玉 信治          総務常任委員会報告者 高田 佳久          社会文教常任委員会報告者 湯本 市蔵          観光経済常任委員会報告者 徳竹 栄子          広報常任委員会報告 渡辺 正男          活性化研究会報告 西 宗亮          公共施設計画資料説明 西 宗亮          記録者 望月 貞明</p> <p>出席議員：小淵、山本(良)、小林、山本(一)、黒岩、田中、布施谷、小根沢、高山、児玉、高田、湯本、徳竹、渡辺、西、望月</p>
次第(担当者)	<p>1. 開会          2. あいさつ          主催者：小淵茂昭 議長          共催者：養田修 南部地区協議会長          司会者より出席議員紹介          3. 報告事項          (1) 常任委員会報告(報告者上述の通り)          総務常任委員会          社会文教常任委員会          観光経済常任委員会          広報常任委員会          議会活性化委員会          (2) 報告についての質疑          4. 懇談事項          (1) どうする町の公共施設整備          (2) その他          5. あいさつ          生玉恵一 南部公民館長          6. 閉会</p>
主な質疑応答 意見提言	<p>質問：皆さんは放置されている社会体育館の跡地利用計画を考えているのか。          回答：議会でも毎回のように一般質問で社会体育館の利用について取り上げてきたが、安全性などの問題があり、まだ結論が出ていない。町の第5次総合計画の後期で方向性が示される予定だ。          回答：平成22年12月の一般質問の答弁では、解体に1億5千万円、耐震補強に3億1千500万円かかる。改修してもその先、何年使えるかの問題もあり、町は体育館を別の場所に造ることを考えているようだ。          要望：社会体育館はガラスが割れ、みっともない。8千万円かけて噴水を造るくらいなら早く解体し、山ノ内の若者の人口が町外に流出しているの、宅地造成を提案したい。そうすれば15軒ぐらいできる。          質問：前回要望した、湯坂の歩道設置計画はどうなっているか。          回答：整備計画では、平成24年度に調査費50万円、25年度に設計費180万円、26年度に工事費が計上されている。南協、区の役員さんに陳情して頂いてやっと実施計画になった。          要望：犠牲者が出てからでは遅い。今年着工するぐらい急いで取り組んで欲しい。          意見：前回言ったことだが、議員16名は多い。中野は4万人で20名、山ノ内は千人で1名として10名から12名でよいと思う。</p>

質問：前回要望した議会報告会の時間延長はどうなったか。

回答：ここ南部の報告会は午後3時からであるが、他の地区は夜7時からで延長は難しい。時間内で充実した懇談が出来ればありがたい。

要望：公共施設、特に観光施設建設は、どれだけの費用をかけ、どれだけの利用者や収入があるかを十分検討し、お金の無駄使いにならないよう、町の増収につながるようしてもらいたい。

質問：山ノ内は、町制60年近くになるが4地区に分かれ、まだ一つになっていないように感じる。観光や農業の分野で頑張っている人もいるが、やっかみがあり、人材育成につながっていないから地域力、活力が足りない。リーダーを育てるのが議員の役目である。広い視野に立った強力なリーダーの下、町が一つになり、観光、農業が一体になれば町は発展すると思う。

回答：町のまとまりについては、議員が力を合わせて地域エゴを捨て、町がまとまるようにしていきたい。

回答：強力なリーダーは必要だと思う。視察した高山市はカリスマ的リーダーが企画、立案して観光客が大幅に増えたと聞いている。参考にして取り組んでいきたい。

質問：町の行政懇談会でなぜ少子化、人口減かと問えば町長は産業がないからと簡単に答える。若者を村に呼んで何をやらないといけないか、物を作ったらお客呼んで儲けることを真剣に考えないとよその地域に負けてしまう。

回答：若者定住について、結婚すると中野に出る人が目立つ。私どもが一般質問で取り上げた山ノ内町の若者の家賃補助制度は、月2万7千円から1万1千円の補助がある。これはすばらしい制度なので、皆さんに勧めて欲しい。

提言：町のシステムを変え、財政、保険、道路など町でやるべきことは町でやり、事業仕分けをして、各地区に毎年1千万円くらい交付し、各地区が自由に使えるようしたら、みんな地域発展を真剣に考え、活性化すると思う。

要望：町の財政を圧迫しているのが国民健保である。保険で安く医者にかかれるせいか安易に医者にかかる傾向がある。「健康は守るより自分で作るものだ」という考えを啓発してほしい。そうしないと保険はパンクする。

質問：人口を増やすには、第三子をどう増やすかが課題になる。第三子には保育料から全部無料にするくらいの大胆な少子化対策をやってほしい。

回答：少子化対策では、視察した矢祭町には第三子に100万円、第四子には150万円、第五子以上は200万円支給する制度がある。参考にしていきたい。

質問：北陸新幹線飯山駅の駐車場建設で、山ノ内町に負担金はあるか。

回答：駅西側の立体駐車場のことだと思うが、負担金の話は今のところない。

質問：飯山へのアクセス、国道403号線の改良状況はどうか。

回答：403号線は開業に間に合うよう整備が進み、表落合と裏落合に狭い箇所が残るだけとなった。表落合は用地交渉も済み、裏落合は地形、費用から、須賀川区長、西部協議会長と陳情し、橋をかける方向で進んでいる。

要望：北陸新幹線が開通すれば、飯山、野沢方面が栄えるように思える。山ノ内町が衰退しないよう、議員が一丸となって知恵を出し、4、5年先を見据えた町発展の施策提案をするよう要望したい。

回答：議員が一丸となって取り組んでいきたい。

質問：昨日の町地域公共交通会議の傍聴者は5人となっていた。なぜ傍聴するようにしたか。また、なぜ5人にしたか。

回答：山ノ内町で衰退する長野電鉄に廃線宣言される前に、広く町民に傍聴を呼びかけ、町民パワーを結集し、長野電鉄山ノ内線を保護するねらいがある。

回答：町の事務局の手配ミスで文化センターが確保できず、狭い会議室に

	<p>なり、傍聴者を5名にしたと聞いている。</p> <p>質問：山ノ内町の方針では今後、小委員会や審議会も希望者に傍聴させるようだが、議員のように公選の委員は別として、委嘱された委員の小委員会まで傍聴されたら本当の意見が出せなくなる。議員のみなさんはどう思うか。</p> <p>回答：小委員会では一般に公開したくない内容もあり、傍聴があると、ざっくばらんな説明や意見が出にくくなり、公正な検討に影響が出る恐れがあるので、傍聴は途中まで制限した方がよいと思う。</p> <p>要望：そのような意見であれば町に要望してもらいたい。</p> <p>回答：小委員会も原則公開すべきだと思うが、内容によっては秘密会にすればよい。</p> <p>回答：会議なかで、この委員会は傍聴しないよう要望すれば非公開になると思う。</p>
<p>その他反省 事項等</p>	<p>1．一人の発言が長すぎ、内容が多岐に渡り、同じ内容の発言が繰り返され論点がばやけた。</p> <p>2．一回の発言内容は一項目にし、簡潔明瞭にしてもらいたい。</p>